

科目名						動物愛護・適正飼養実習Ⅲ					
担当教員		佐山 恭子		実務授業の有無		○					
対象学科		動物看護師・リハビリ・トリマー学科		対象学年		3		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		64	
授業概要、目的、授業の進め方		後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。対面授業で実施。									
学習目標 (到達目標)		正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようになる（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようになる）									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	犬の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
2	猫の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
3	ウサギの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
4	モルモットの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
5	ハムスターの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
6	犬の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
7	猫の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
8	ウサギの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
9	モルモットの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
10	ハムスターの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
11	犬の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
12	猫の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
13	ウサギの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
14	モルモットの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
15	ハムスターの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
16	期末試験					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
17	犬の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
18	猫の飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
19	ウサギの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
20	モルモットの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
21	ハムスターの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
22	ウサギの飼育管理の実習					実習（学校飼育動物を実際にお世話する）					
23	総復習										
24	期末試験										
評価方法・成績評価基準					履修上の注意						
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					動物種ごとだけではなく個性をもち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるようになる働きかける。						
実務経験教員の経歴		動物病院で動物看護師として9年勤務									

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	坂井田 千佳子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ 就活ナビ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップの振り返り				
2	インターンシップの振り返り 発表				
3	就職活動の流れ、必要書類作成について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る</li> <li>・履歴書の学歴や検定欄の更新</li> </ul>		
4	求人検索の方法、求人票の見方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人検索サイトを知る</li> <li>・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る</li> </ul>		
5	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備</li> <li>・企業研究をどのように行うか知る</li> </ul>		
6	面接のマナー、面接の形式				
7	面接のマナー、面接の形式				
8	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」				
9	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」				
10	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す				
11	日本語の発声法、緊張は友達、リズムカルに話す				
12	ディスカッションの基礎、筆記試験対策				
13	ディスカッションの基礎、筆記試験対策				
14	実習日誌の作成 これまでの振り返り				
15	実習日誌の作成				
16	著中見舞い、年賀状の書き方		プリント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけでなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。		
実務経験教員の経歴					

科目名	動物臨床看護学総論				
担当教員	佐藤 緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識を身に付けて、チーム獣医療の中で動物看護師の視点で看護を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物看護過程の概要と展開 動物看護過程とは何か(目的、意義、展開方法について)		パワーポイントを使用した授業展開		
2	動物看護過程の概要と展開 アセスメントについて理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
3	動物看護過程の概要と展開 事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
4	問題の明確化と動物看護計画の立案、動物看護過程の実施と評価について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
5	診療記録 診療録(カルテ)の作成方法について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
6	動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
7	動物看護業務 チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
8	ケアの標準化(クリティカルパス)について理解する 事故管理、防止システムについて理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
9	若齢動物看護の特徴について理解する 老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
10	家庭での継続看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
11	ターミナルケアに関わる技術 ターミナルケアの目的と意義について理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
12	QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
13	グリーフケア、死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する		パワーポイントを使用した授業展開		
14	ターミナルケアについて知る 概要と事例紹介		パワーポイントを使用した授業展開		
15	動物看護記録 重要性と必要性、記録の一般的な注意、管理方法、開示		パワーポイントを使用した授業展開		
16	期末試験		事例を基に看護過程を考える		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として6年勤務				

動物臨床看護学各論Ⅱ					
科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ				
担当教員	遠藤 純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	器官別の疾患について、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾患によって、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを把握した上で各症状を理解し、動物への看護法を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業説明		パワーポイント		
2	消化器系疾患		パワーポイント		
3	消化器系疾患		パワーポイント		
4	消化器系疾患		パワーポイント		
5	泌尿器系疾患		パワーポイント		
6	泌尿器系疾患		パワーポイント		
7	泌尿器系疾患		パワーポイント		
8	内分泌系の疾患		パワーポイント		
9	内分泌系の疾患		パワーポイント		
10	内分泌系の疾患		パワーポイント		
11	生殖系疾患		パワーポイント		
12	生殖系疾患		パワーポイント		
13	生殖系疾患		パワーポイント		
14	整形外科疾患		パワーポイント		
15	整形外科疾患		パワーポイント		
16	期末試験		パワーポイント		
17	皮膚疾患		パワーポイント		
18	皮膚疾患		パワーポイント		
19	皮膚疾患		パワーポイント		
20	神経疾患		パワーポイント		
21	神経疾患		パワーポイント		
22	神経疾患		パワーポイント		
23	造血器・免疫介在性疾患		パワーポイント		
24	造血器・免疫介在性疾患		パワーポイント		
25	造血器・免疫介在性疾患		パワーポイント		
26	緊急疾患		パワーポイント		
27	緊急疾患		パワーポイント		
28	がん動物の看護		パワーポイント		
29	がん動物の看護		パワーポイント		
30	総復習		パワーポイント		
31	総復習		パワーポイント		
32	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名	動物看護総合実習Ⅲ				
担当教員	動物病院		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	いままで修学した知識と技術、コミュニケーション能力を発揮し、先輩動物看護師に見習うことで、新人スタッフとしての心構えと社会人としての責任感を養い自身に不足している部分を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	発揮したい事項① 医療チームの一員として相応しい態度、学習者としての相応しい態度				
2	学びたい技術① 動物病院に必要な環境に関するアセスメント・整備技術				
3	学びたい技術② 動物病院に必要な食事に関するアセスメント・介助技術				
4	学びたい技術③ 排泄技術				
5	学びたい技術④ 動物病院に必要な活動・休息・援助に関するアセスメント・介助技術				
6	学びたい技術⑤ 動物病院に必要な身体の清潔に関するアセスメント・援助技術				
7	学びたい技術⑥ 動物病院に必要な身体の呼吸・循環に関するアセスメント・技術				
8	学びたい技術⑦ 動物病院に必要な創傷管理に関するアセスメント・技術				
9	学びたい技術⑧ 動物病院に必要な投薬に関するアセスメント・技術				
10	学びたい技術⑨ 動物病院に必要な生体機能管理に関するアセスメント・技術				
11	学びたい技術⑩ 動物病院に必要な感染予防に関するアセスメント・技術				
12	学びたい技術⑪ 動物病院に必要な安全管理に関するアセスメント・技術				
13	学びたい技術⑫ 動物病院に必要なコミュニケーションに関するアセスメント・技術				
14	学びたい技術⑬ 動物病院に必要な周術期の看護に関するアセスメント・技術				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院での臨床実習		
実務経験教員の経歴					

科目名	リハビリテーション理論				
担当教員	遠藤 純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	実践で身に付けた知識を実行できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	リハビリテーションとは		パワーポイント		
2	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器		パワーポイント		
3	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器		パワーポイント		
4	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能 骨格、筋肉、関節、臓器		パワーポイント		
5	創傷治癒の基本と運動器の障害からの回復		パワーポイント		
6	創傷治癒の基本と運動器の障害からの回復		パワーポイント		
7	廃用と不動化および再可動に対する筋骨格組織の変化		パワーポイント		
8	廃用と不動化および再可動に対する筋骨格組織の変化		パワーポイント		
9	病態の評価と身体測定		パワーポイント		
10	病態の評価と身体測定		パワーポイント		
11	歩様検査、整形外科的検査、神経学的検査		パワーポイント		
12	理学療法概論		パワーポイント		
13	徒手療法、運動療法、物理療法について		パワーポイント		
14	徒手療法、運動療法、物理療法について		パワーポイント		
15	徒手療法、運動療法、物理療法について		パワーポイント		
16	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
17	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
18	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
19	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
20	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
21	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
22	個々の診断に対する理学療法 整形外科的疾患と理学リハビリテーション		パワーポイント		
23	期末試験				
24	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名	リハビリテーション実習				
担当教員	森 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングIの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	アニマルマッサージ/リハビリテーションプラクティショナーの認定 1人が1頭の状態把握から、ケア、クライアント対応までを一貫して行う事ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	アニマルマッサージ/リハビリテーション科とは 人と犬の関係/歴史	パワーポイント、実習			
2	犬の行動学/カーミングシグナル(カーミングシグナル/プレゼン)	パワーポイント、実習			
3	ハンドリング(実習ハンドリング)	パワーポイント、実習			
4	プレゼンテーション(ハンドリング)	パワーポイント、実習			
5	飼い主応対/問診	パワーポイント、実習			
6	犬の行動学/カーミングシグナル(カーミングシグナル/プレゼン)	パワーポイント、実習			
7	ハンドリング(実習ハンドリング)	パワーポイント、実習			
8	感覚器系の組織の主なもの	パワーポイント、実習			
9	解剖学①(骨格/実習)独立方で骨格を組立てて、プレゼン	パワーポイント、実習			
10	解剖学②(筋肉)筋肉図に色を付けながら、筋肉の名前を覚える	パワーポイント、実習			
11	解剖学③(筋肉/実習)独立方で骨に筋肉を付ける	パワーポイント、実習			
12	解剖学④(実習)	パワーポイント、実習			
13	アニマルマッサージ療法の原則/コンセプト/マッサージの動作	パワーポイント、実習			
14	アニマルリラクセーションマッサージ療法/テクニック	パワーポイント、実習			
15	アニマルリラクセーションマッサージ療法/実習	パワーポイント、実習			
16	アニマルリラクセーションマッサージ療法/テクニック/実習	パワーポイント、実習			
17	人畜共通伝染病/中毒	パワーポイント、実習			
18	アニマルリラクセーションマッサージ療法/テクニック	パワーポイント、実習			
19	アニマルリラクセーションマッサージ療法/実習	パワーポイント、実習			
20	アニマルリラクセーションマッサージ療法/テクニック/実習	パワーポイント、実習			
21	犬の仕事、グループ	パワーポイント、実習			
22	プレゼンテーション(犬の仕事)	パワーポイント、実習			
23	運動学(GAIT)	パワーポイント、実習			
24	ドッグスポーツマッサージ療法/テクニック	パワーポイント、実習			
25	ドッグスポーツマッサージ療法/実習①	パワーポイント、実習			
26	犬の仕事、グループ/犬種ランニング	パワーポイント、実習			
27	犬の運動学(GAIT)	パワーポイント、実習			
28	応急処置(First AID)	パワーポイント、実習			
29	ドッグスポーツマッサージプロ療法グラム作成/実習②	パワーポイント、実習			
30	アニマルリハビリテーションマッサージ療法について	パワーポイント、実習			
31	アニマルリハビリテーションプログラムカルテ作成 アニマルリハビリテーションプログラム作成	パワーポイント、実習			
32	修了試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	一般社団法人日本アニマルマッサージ協会代表理事				

科目名	行動の原理				
担当教員	佐藤 大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングIの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	オペラント条件付け、レスポナント条件付け、消去、般化と弁別など、学習における基本的な理論を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	うまくやるための強化の原理（二瓶社）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オペラント条件付け（強化）		座学		
2	正の強化		座学		
3	負の強化		座学		
4	オペラント条件付け（弱化的）		座学		
5	正の弱化的		座学		
6	負の弱化的		座学		
7	レスポナント条件付け		座学		
8	般化と弁別		座学		
9	脱感作		座学		
10	シェイピング		座学		
11	ハズバンダリートレーニング		座学		
12	現代社会における強化		座学		
13	シェイピングゲーム基礎編		座学		
14	シェイピングゲーム発展編		座学		
15	期末試験対策		座学		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ドッグトレーナー、wan on one代表				



科目名		しつけトレーニング実習II						
担当教員		佐藤 大輝		実務授業の有無		○		
対象学科		動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年		3	開講時期		前期
必修・選択		必修	単位数		1	時間数		32
授業概要、目的、授業の進め方		後期に始まるトレーナートレーニングIの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。						
学習目標 (到達目標)		就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料		愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
2	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
3	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習				実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習				実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
6	実技テストとスピーチテスト				実行したしつけの確認とスピーチ発表			
7	テストのフォローバック				テストの内容の補足、解説			
8	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
9	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
10	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
11	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
12	犬の観察と道具確認				実際の犬と道具を観察、確認			
13	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習				実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
14	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習				実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
15	実技テストとプレゼンテスト				実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影			
16	テストのフォローバック				テストの内容の補足、解説			
評価方法・成績評価基準					履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					犬が参加するので、人、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。			
実務経験教員の経歴		ドッグトレーナー、wan on one代表						

科目名 グルーミング実習Ⅰ					
担当教員	稲田 巴美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	13	時間数	352
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来る。120分の中で、シャンプー、ペイジング、ドライイング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について				
2	グルーミングデモンストレーション		実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ		
3	シャンプー犬での実習		2, 3人で一頭、足回り以外の作業を行う		
4	シャンプー犬での実習		時間よりも、丁寧な作業を意識して作業する		
5	シャンプー犬での実習		作業中の安全な保定を学ぶ		
6	シャンプー犬での実習				
7	シャンプー犬での実習		足回りのカットを学ぶ		
8	シャンプー犬での実習		1つの作業時間を短くする		
9	シャンプー犬での実習				
10	シャンプー犬での実習				
11	シャンプー犬での実習		1人1頭		
12	シャンプー犬での実習		1人の時の保定を学ぶ		
13	シャンプー犬での実習				
14	シャンプー犬での実習				
15	シャンプー犬での実習		時間を意識し1つ1つの時間短縮		
16	シャンプー犬での実習				
17	シャンプー犬での実習		1日でシャンプーセットをすべて終わらせる		
18	シャンプー犬での実習				
19	シャンプー犬での実習		仕上がりの強化		
20	シャンプー犬での実習				
21	シャンプー犬での実習				
22	シャンプー犬での実習				
23	シャンプー犬での実習		シャンプーセット120分以内で終わらせる		
24	シャンプー犬での実習		部分カットでハサミの練習		
25	シャンプー犬での実習				
26	シャンプー犬での実習				
27	シャンプー犬での実習				
28	シャンプー犬での実習				
29	期末試験		テスト形式120分でシャンプーセットを行う		
30	期末試験		テスト形式120分でシャンプーセットを行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名	造形美術				
担当教員	稲田 巴美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	トリミングに必要な技術と観察力を身に付け、個体それぞれのトリミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペットライフ社 トリマーのためのベーシックハンドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ラムクリップについて		トリミングの基本要素が集約されたもの。		
2	面と角について、シザーについて		面と角を理解する。シザーの正しい持ち方、動かし方を修得する。		
3	シザー動かし方練習 後肢フットライン		カットの時は、常に全体のバランスをしっかりとみて行う。		
4	前肢フットライン				
5	お尻周辺のカット				
6	お尻～アンギュレーション～飛節～飛節下のカット①				
7	後肢のカット、角取り				
8	お尻サイド、タックアップの位置決め				
9	ボディーサイドカット、アンダーカット、角取り				
10	前肢カット、角取り				
11	フロント①				
12	背線カット				
13	顔のカット①				
14	全体のバランスを見て仕上げ①				
15	全体のバランスを見て仕上げ②				
16	完成品 評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名	動物薬理学Ⅱ				
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	薬理学総論を通して、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを理解できる。				
テキスト・教材・参考文献・その他資料	エデュワードプレス 基礎動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	総論 薬理学とは 薬と類する物の分類		医薬品と医薬部外品の違いについて		
2	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
3	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
4	おもな薬剤の特性 抗菌薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
5	おもな薬剤の特性 抗菌薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
6	おもな薬剤の特性 合成ステロイド		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
7	おもな薬剤の特性 合成ステロイド		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
8	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
9	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
10	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
11	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
12	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
13	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
14	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論		
15	薬用量の計算		動物は、年齢、体重、体格が様々である。薬物の投与量は動物ごとに決定する必要がある。		
16	期末試験		動物薬理学の総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			解剖生理学やカタカナ用語が多く出てくることから、苦手意識を持つ学生が多い。しかしながら、現場での必要性は非常に高く、覚えておくことで効率的に現場医療に介入できるであろう。まずは、薬について興味を持つことが重要である。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

科目名 公衆衛生学					
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	後期に始まるトレーナートレーニングⅠの理論分野。主にオペラント条件付けを扱い一般家庭犬の実践動画や学生間の体験できるゲームで理論を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	公衆衛生について学び、理解・実施できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) EDUWARD Press発行 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	公衆衛生学とは、動物看護師と公衆衛生		パワーポイント、教科書		
2	疫学と疫病予防		パワーポイント、教科書		
3	疫学と疫病予防		パワーポイント、教科書		
4	食品衛生法		パワーポイント、教科書		
5	食中毒		パワーポイント、教科書		
6	食中毒		パワーポイント、教科書		
7	食品とアレルギー、動物性食品の衛生		パワーポイント、教科書		
8	食品の保存方法		パワーポイント、教科書		
9	食品安全行政、健康被害		パワーポイント、教科書		
10	環境問題		パワーポイント、教科書		
11	水の衛生		パワーポイント、教科書		
12	生活環境問題、廃棄物問題		パワーポイント、教科書		
13	衛生動物		パワーポイント、教科書		
14	まとめ		パワーポイント、教科書		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
17	病原体等に関する安全対策		パワーポイント、教科書		
18	ウイルス性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
19	ウイルス性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
20	ウイルス性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
21	細菌性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
22	細菌性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
23	細菌性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
24	真菌性人獣共通感染症		パワーポイント、教科書		
25	寄生虫		パワーポイント、教科書		
26	寄生虫		パワーポイント、教科書		
27	振興感染症と再興感染症		パワーポイント、教科書		
28	狂犬病予防の重要性		パワーポイント、教科書		
29	食中毒振り返り		パワーポイント、教科書		
30	まとめ		パワーポイント、教科書		
31	期末試験				
32	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				